

教育だより

第194号

令和3年(2021年)1月29日
練馬区教育委員会
練馬区豊玉北6-12-1
☎5984-5609

石神井小学校の新校舎が完成しました。

平成31年3月から校舎等の改築に着手し、令和2年12月に新校舎が完成しました。(グラウンドは令和3年11月完成予定)



(施設の特色)

① 浅葱(あさぎ)色の新校舎

校歌で歌われている浅葱(あさぎ)色をアクセントカラーとして校舎の北東・北西側、昇降口壁面、校名板の文字等に取り入れました。井草通りと旧早稻田通りの交差点から新校舎を望むことができます。

② 少人数教室と学年ラウンジ

少人数教室で習熟度別の算数の授業を行うほか、学年ラウンジと一緒に利用し、グループ学習の場として活用することができます。また、学年ラウンジは休み時間における児童の交流の場となります。

③ 既存樹木メタセコイアの活用

長い間、石神井小学校とともに歩んできたメタセコイアの大木は、新校舎の建築により伐採することになりました。そこで、これまで石神井小学校を見守ってきたメタセコイアを新校舎の建材として活用しました。メタセコイアの建材は、昇降口の庇下の天井材として再利用され、これからも児童を見守り続けるとともに、児童への環境教育に寄与します。

大泉西中学校の新校舎が完成しました。

平成31年4月から校舎等の改築に着手し、令和2年11月に新校舎が完成しました。(グラウンドは令和3年11月完成予定)



(施設の特色)

① 使いやすく効率的な施設配置

すべての普通教室を日当たりの良い南側に配置し、良好な教育環境を確保しています。体育館・プール・武道場を校舎棟と一体整備することで使いやすい校舎となりました。また、誰もが利用しやすいように、段差解消・多目的トイレの整備、玄関やトイレ等における十分な広さの確保、エレベーターの設置などバリアフリー化に取り組んでいます。

② 体育施設の充実

体育館は、災害時には避難所となることも考慮し、空調設備を設置しています。また、改築に合わせて武道場を新設しました。グラウンドは、200mトラックおよび100m直線走路を確保します。

③ 環境への配慮

太陽光発電設備やトイレ洗浄等に雨水を利用するなど、自然エネルギーの活用や省エネルギーの仕組みを導入し、環境に配慮した学校施設として国からエコスクール・プラスの認定を受けています。また、屋上、壁面を含めた緑化を行い、緑豊かな学校環境となっています。

【問合せ】学校施設課 学校整備担当係(電話5984-1072)

地域の力で学校の教育活動を充実させるために

区立小中学校・幼稚園で「学校・地域連携事業」を進めています

学校・地域連携事業は、地域の多様な人材を活用して、学校の教育活動の充実を目指すものです。事業実施5年目となる令和2年度は、昨年度に引き続き、区立の全小中学校・幼稚園で実施し、更なる活動の充実を目指しています。

各校には、地域と学校の橋渡し役として「学校支援コーディネーター」を配置しています。学校支援コーディネーターは、学校のニーズに応じて、地域の方への協力依頼や協力時のサポートなどを行います。

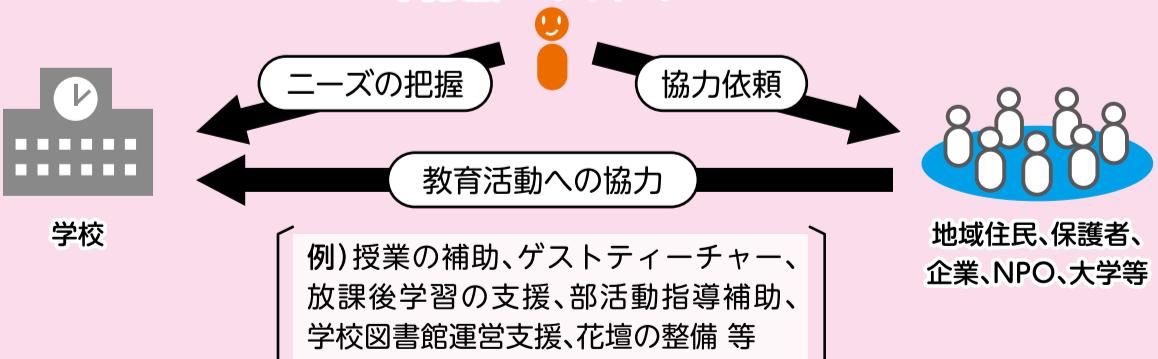


幼稚園の活動補助



放課後学習の支援

学校支援コーディネーター



【問合せ】教育指導課 管理係(電話5984-5746)

今できる最善を子どもたちに ~練馬区立学校・幼稚園の取組~

区立の学校・幼稚園では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、様々な工夫をしています。例年どおりの教育活動が難しい中でも、優れた工夫や地域との連携により、子どもたちが安心して充実した学びを実現できるようにしている取組の例をご紹介します。

幼児が自分で行動できるように ～練馬区立幼稚園3園の取組～



北大泉幼稚園、光が丘むらさき幼稚園、光が丘さくら幼稚園では、練馬区立小学校の取組を参考に、感染予防の取組を行っています。例えば、手洗い時に並ぶ場所に印を付けたり、トイレ前の並ぶ場所に印を付けたりして、子どもが自分でソーシャルディスタンスを感じて行動できるようにしています。また、一人ひとりがマスクを保管するマスク入れを用意し、マスク入れをかける場所を教室に作ってマスクが清潔に保管できるようにしています。

先生たちもマスクを着用しています。そのため子どもがマスクをしている先生の顔が分かるように、先生が自分の顔写真を名札と一緒にぶら下げている園もあります。園再開当初は、先生の顔と顔写真とを子どもが見比べて、「写真と同じだ!」と喜ぶ姿が見られました。

子どもが安心して、安全に園での生活が送れるよう様々な工夫を行っています。

「ナンタナメッセージ」



南田中小学校の校舎から、大空へ向かって風船が飛び立っていくデザインです。

地域とつながる、地域の力となる 中村中プロジェクト

地域のために活躍できる生徒に!!



自分たちの地域の歴史について改めて知ることができました。

地域の歴史について新たな発見!

コロナ禍の中で、修学旅行や校外学習、初めて行くはずだったTGG(東京グローバルゲートウェイ)学習等が実施できませんでした。このような中でも、自分たちの地域の歴史を歩きで探し、生徒たちにより一層自分たちが住む地域に愛着を感じてほしい、地域の一員であることを実感してほしいという願いをもち、「地域とつながる、地域の力となる中村中プロジェクト」を実施しました。

取り組んだ生徒からは、「地域のお地蔵さんにそんな由来があるなんて知らなかったです。」「遠方からもこの「首つぎ地蔵さん」をお参りに来る方がいるみたいです。」といった声が上がりました。

この取組を知った地域の方からも、「地域を好きになってくれたら、ありがとうございます。地域を知って、地震等による災害時には、避難所となる中学校で運営を助けてほしい。」というお話をいただいています。

【問合せ】教育指導課 指導主事(電話5984-5759)

家庭教育コラム|外出に不安を覚える子供に対して

新型コロナウイルスが見つかってから1年が経ちました。毎日手洗い・うがい、マスクの着用、3密の回避など、一人ひとりが感染拡大防止に努めて過ごすことが日常となっています。とはいっても、大人にとっても子供にとっても、毎日気を付けなくてはならない・我慢しなくてはならない状況が続くということは、常にストレスを抱えて過ごしているということです。日々感染状況が報道され、感染者数が多くなれば不安な気持ちも大きくなります。子供は、大人よりも不安な気持ちの扱いに慣れていないため、極端に怖がったり、不安な事柄を避けようしたりすることがあります。もしも、お子さんにそのような様子が見られたときには、以下のことを参考に接してみてください。

1 怖い・不安に思うのは自然なこと

初めにお伝えしたいことは、この状況下で不安や恐れを感じることは自然な反応だということです。感染のリスクがあることには1年経っても変わりはなく、大人も子供も心配になって当然です。不安や恐れを感じる気持ちは自然なことで、生きていく上で危険を回避するためには必要なものなのです。ただ、その度合いには個人差があります。また、そうした気持ちになったとき、どう受け止めるか、対処するかも人それぞれ違いがあります。大切なのは、自分の中にある気持ちを認め、感情との付き合い方を見つけることです。大人も含めて、適度に気持ちを切り替えて過ごしていきましょう。

2 子供の話をよく聞く

子供は感情をコントロールする力が未熟です。自分の気持ちに共感してもらったり、時には安心を与えてもらったりすることで感情をコントロールする術を学びます。特にストレスの多い状況では、心配や恐れ、疑問を信頼できる大人に伝え、よく話を聞いてもらうことで安心を得ようとすることがあります。いつも以上に甘えたり、体の症状を訴えたり、今まで出来ていたことが出来なくなったりと、お子さんがこれまでと違う行動をしてきたときには、自分なりの不安の表現かもしれません。出来るだけ時間をとってお子さんの話に耳を傾けましょう。

3 正しい知識と行動を身につけ、できる範囲で楽しめる活動を

子供には、正しい情報を伝えるようにしていきましょう。ウイルスの最新情報を常に見ていると、過度な緊張感を抱えることもあります。特に子供にとってメディアからの情報は刺激が強く、同じような情報(刺激)を繰り返し受けることで、情緒がさらに不安定になることが分かっています。ウイルスに関して様々な情報やうわさが広がっており、情報の取捨選択も難しくなっています。情報が、いつ、どこ(誰)から発信されたものか、注意を払うようにしてください。

また、ウイルスによる不安への対処方法を教えるには、過剰な警戒ではなく、手洗い、マスクの着用等正しい予防の知識や情報を子供の発達段階に合わせて伝えることが大切です。そして、正しい予防の知識を得て実践すること、子供の努力を認めることが、不安の軽減に役立ちます。

それでも不安が強く外出したがらない場合には、毎日の習慣や生活リズムを出来る限り維持しましょう。“いつもどおり”でいられることが安心に繋がります。また、屋内で子供が楽しめる運動(ダンスやストレッチ、ラジオ体操など)を取り入れ、体を動かす工夫をしてください。不安が和らいできたら、3密を避けた場所での活動(近所を親子で散歩する等)の機会を持ち、“外出しても大丈夫だった”経験を段階的に積み重ねていきましょう。

学校教育支援センター教育相談室〔電話 5998-0091〕

学校教育支援センター練馬〔電話 3991-3666〕

学校教育支援センター閑〔電話 3928-7200〕

学校教育支援センター大泉〔電話 6385-4681〕

※ 祝休日を除く月曜日から土曜日 午前9時～午後5時(金曜日は午後6時まで)

●いつでも相談をお受けしています。

おひさまのもとでお米を育てよう

南田中保育園の取組をご紹介します



陽当りが良く豊かな自然環境のもとで、全クラスの子供たちが季節の農作物や花を育てています。お日様のもと土に触れながら活動してきた5歳児・ばら組のお米作りの様子を紹介します。



〈初 夏〉

夏のはじめに、稻の苗が届きました。全員での田植えができなくてがっかりしながらも、数名の子供たちで田植えを楽しみました。夏になりようやく皆が新しい、毎日水やりをして成長を楽しみにしている子供たちでした。

〈秋の始め〉

いよいよ収穫の時期になり、一人ずつ担任と一緒にカマで稻を刈り取りました。ワクワクドキドキしながら嬉しくて仕方がない様子が見られました。手作業で丁寧にもみ殻を取り、真剣な表情の子供たち。紙パックの中に入れ脱殻する作業を根気よく数日続けることができました。

やっと全部終わり白米に混ぜて炊いてもらいました。自分でラップおにぎりを作り食べたご飯の味は格別だったようでした。



〈夏の終わり〉

小さな稻穂ができ始めて「これがお米?」と不思議そうにしていました。少しづつ硬く大きくなってくると「お米だ!」と実感したようで収穫を楽しみに待つことができました。

〈お米作りを終えて〉

お米が出来るまでの過程を体験し、稻をお米にするまでの大変さを味わった子供たち。

お米への愛着がわき、収穫して食べる喜びを経験することができました。



ご飯美味しい！最高！

稻の生育の様子 もみ殻取り・脱殻の様子

【問合せ】保育課 管理係(電話5984-5839)

「練馬ひかり幼稚園」を練馬こども園に認定

区は全国に先駆け、長時間の預かり保育などを行う私立幼稚園を「練馬こども園」として独自に認定しています。お子さんの教育や保育について選択の幅が広がり、共働き家庭からも利用されています。

新たに「練馬ひかり幼稚園」を練馬こども園に認定しました。

幼稚園名(所在地)	電話番号	対象	預かり保育時間	定員
練馬ひかり幼稚園 (三原台1-11-34)	3924-8383	3~5歳	7:30~18:30	25名

*申し込み方法など詳しくは練馬ひかり幼稚園にお問い合わせください。

●練馬こども園の特徴

- 夏・冬・春休みを含め、1日9時間から11時間預かります。
- 各私立幼稚園の特色を生かした教育を実施します。



*練馬こども園一覧 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/yochien/nerimakodomoen.html>



【問合せ】こども施策企画課 こども施策担当係(電話5984-1522)

令和3年度ジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します

小学5・6年生と中学生を対象に、地域や学校などで仲間づくりのリーダーとして役立つよう、グループ活動の楽しさやルール、レクリエーション活動の技術や知識などを野外活動などの体験をしながら学ぶジュニアリーダー養成講習会の受講生を募集します。運営・指導は練馬区青少年委員会と、ジュニアリーダー養成講習会を修了した高校生以上の青年リーダーが行います。受講修了者は、地域のボランティア活動などにも参加しています。

詳しくは、区立小中学校で配布する募集案内または区ホームページをご覧の上、2月16日(火)(消印有効)までにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施いたします。
※区立小中学生以外の方はお問い合わせください。

※ホームページについては、「練馬区ジュニアリーダー養成講習会」で検索してください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/seishonen/juniorleader/index.html>

【問合せ】青少年課 青少年係(電話5984-4691)



ハイキングの様子



レクリエーション活動の様子



第39回練馬区学校保健大会を開催

12月3日、練馬文化センターにて保護者、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、区立学校の教職員などが参加する「練馬区学校保健大会」を開催しました。学校保健大会は、学校保健関係者が一堂に会し、学校保健の課題について共通理解を広め、一層の協力を推進するために年1回開催しています。本年度は参加者数を例年の半数以下とし、プログラムの一部をオンライン配信するなどの感染症対策を十分に実施した上で開催しました。当日の会場での参加者およびオンライン参加者は、それぞれ150名程度となりました。



大会では、中学校養護教諭部会が「学校における感染症予防～手洗いと咳エチケットに関する実態調査と保健指導～」をテーマとした研究発表を行いました。石神井プロックの中学校8校の実態調査結果や各校における取組の紹介は、感染症予防について改めて考えさせられる内容となりました。

また、特別講演には、東京都立小児総合医療センター心療内科医の吳宗憲先生をお招きし、「朝起きられない子への対応～起立性調節障害と睡眠について～」をテーマにお話をいただきました。参加者からは、「起立性調節障害について理解を深めることができた」とご意見をいただきました。

これからも、このような機会を通じて学校保健関係者の相互理解を深め、連携を図ることで、子供たちの健全育成につなげていきたいと思います。

【問合せ】保健給食課 学校保健係(電話5984-5729)

新しい年を迎えて～教育委員会からのごあいさつ～

新年に寄せて

教育長 河口 浩

コロナ禍によって様々な制約の中で教育活動が行われています。こうした中、2月には、児童生徒の皆さん一人ひとりにタブレットパソコンが配備されます。授業で使うだけでなく、家庭学習でも活用できるよう準備を進めています。コロナ禍ではありますが、今年は、新しい教育のスタートの1年にしたいと考えています。本年も、保護者の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。



デジタル時代の先駆者に

委員 坂口 節子



コロナ禍のために皆さんが殆どの楽しい学校行事を体験できなかったことは本当に残念です。その上、時代は教育の分野だけでなく社会もオンラインで動き出しました。これからは個別のタブレットパソコンを通して驚くほど広い情報の世界を手にすることでしょう。さらに未来志向で大切な地球を守り、持続可能な社会をめざしていくことが重要です。新年を迎え、多様な情報から学びとる力を創り出す開拓者となってください。

新年に向けて

委員 高柳 誠



「子育て・教育は人生の崇高な営みである」という格言があります。私は以前、この深意を十分には理解できませんでしたが、歳月を重ね、「子育て・教育は人生の崇高であり重要な営みである」と心から思えるようになりました。子育て・教育には苦労が多くあるかもしれません、それ以上に沢山の喜びや楽しさがあります。子供たちの健やかな成長を願い、そのために尽力している保護者や保育・教育関係の方々を支援できますよう努力してまいります。

切れ目のない支援

委員 新井 良保



この言葉に出会ってから、心に残る言葉になりました。

「おひさまぴよぴよ」から「練馬こども園」、小・中学校、「ねりっこクラブ」、「中3勉強会」、相談などと支援は続きます。

一人ひとりの子供に寄り添いきめ細やかな対応が準備されています。これらの個々のニーズに合った取組が、今後ともより充実するよう尽力してまいります。

新しい時代のはじまり

委員 中田 尚代



コロナ禍の中、出前教育委員会の中止や研究発表会の参加者縮小のため、子供たちとの触れ合いの場面が制限されて残念に思っています。教育現場では、感染症対策や行事の見直しなど様々な制限があり、課題が山積みなことと思われます。しかしこの状況だからこそ新たな試みが必要だと感じています。新しい時代の第一歩を踏み出す子供たちへの手助けができるよう努めてまいります。

～令和2年度 練馬区教育委員会児童・生徒表彰～

練馬区教育委員会では、さまざまな活動の場において一生懸命努力している子供たちを応援するため、児童・生徒表彰を行っています。

令和2年度は、スポーツ・文化芸術などで活躍した、個人173名と団体4組の表彰者を決定しました。表彰状は各学校で授与されます。

対象となった児童・生徒の氏名などの詳細については、QRコードを読み取るか、区ホームページから「練馬区児童・生徒表彰」で検索してください。

【ホームページアドレス】

<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/hyoesha.html>



【問合せ】教育総務課 庶務係(電話5984-5609)

「教育だより」へのご感想やご要望をお寄せください

教育だよりの紙面に対してはもちろん、各記事の詳細につきましてもご感想やご要望をお待ちしておりますので、下記のホームページアドレス、またはQRコードからアクセスし、「教育だよりのご感想・ご要望はこちら」よりメールをお寄せください。いただいたご感想、ご要望は、次号以降の記事作成への参考とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育総務課 庶務係 <教育だより ホームページアドレス>
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kosodatekyoiku/kyoiku/gakko/kyokudayori.html>

